

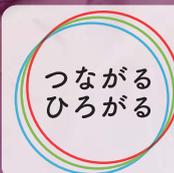
# まぐまぐ

餅つきをして丸める作業をしました

winter 4th

社会福祉法人MAG 2026. 2. 28

1



MAG

# ごあいさつ

「まぐまぐ4th」冬号をお届けします。

令和8年2月に当法人は新設合併2年目を迎えました。これも偏に皆さまのご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

また、当法人は令和8年1月に新富町にある「小規模多機能ホーム花唄」の事業の全てを承継することとなりました。第3福祉課に所属し地域の皆さまに必要とされる付加価値の高い福祉サービスの提供に努めたいと存じます。さて、今回も各事業所から多くの「笑顔や元気」が集まりました。お納めいただき、ご一読頂けましたら幸いです。

業務執行理事 那須 健太郎

## それぞれの事業所から

### 第1福祉課

#### 障がい者支援施設エデンの園 サブマネージャー 杉尾 可奈子

寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。梅が咲き始め、日差しのやわらかさに春の足音を感じる頃です。

エデンの園では、1月13日に、新春のど自慢大会を開催しました。利用者のみなさんは、音楽活動で練習した自慢の歌を披露し、多くの方からの拍手や歓声を頂きとても喜ばれていました。

また給食では、お正月のおせちや体も心も温まる鍋会食、菜の花を使ったパスタ、節分など、季節の味わいを感じることが出来るメニューを取り入れ、利用者のみなさんが「美味しかった～！」「また食べたいわ！」と嬉しそうに話されていました。

2026年も利用者のみなさんと共に、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。



#### 生活介護事業所あゆむ 管理者 光森 勇人

年末年始にかけて、あゆむではイベントが盛りだくさんでした。

12月25日は、あゆむクリスマス会を開催。午前中に祝会を行い、そこではあゆむバンドの演奏会も行いました。午後からは手作りケーキをみんなで調理し、利用者の皆さんは思い思いにデコレーションを楽しまれました。年が明けて1月5日から1週間は「正月遊びWeek」と題して、昔ながらの正月遊びを楽しみました。グラウンドに出たの風揚げ、自分で作ったコマ遊び、福笑いなど、正月らしい遊びを職員も一緒になって楽しみました。1月14日には利用者の希望もあって、初詣とぜんざい会を行いました。午前中に巨田神社へ初詣に参拝し、午後からはぜんざいを堪能していただきました。

年末年始を通して体調を崩される方もおらず、皆さん元気に新年をスタートする事が出来ました。今年もあゆむは利用者・職員一丸となって様々な事に「チャレンジ」していきたいと思います。



## びえんと居宅介護支援事業所 管理者 長 友 茂

主任介護支援専門員2名と介護支援専門員2名の計4名体制で、国富町と宮崎市を中心に支援を行っています。

びえんと居宅介護支援事業所では、ケアマネージャーが介護に関するさまざまなご相談をお受けしています。

「これからの生活が不安」「どんなサービスが使えるのかわからない」など、小さなことでも大丈夫です。

ご本人やご家族のお話をじっくり伺い、その方らしい暮らしを続けていけるようお手伝いします。

地域の皆さまに信頼していただける事業所を目指し、これからも心を込めて支援してまいります。



## 第2福祉課

### りんぐ リーダー 東 屋 理 香

冬の冷たい空気の中にも、日差しが暖かく、春の気配を感じる季節になりました。

庭先の花が咲き始め、窓の外では、猫がやらかな日差しを浴びながら、気持ちよさそうにまどろんでいます。

りんぐでも、窓から差し込むあたたかな光や、春の話題に心が和むひとときが増えてきました。新しい季節の始まりとともに、今年も地域の皆さまとのつながりを大切にし、安心できる暮らしの場であり続けたいと思います。

2月は、国富町総合文化会館で作品展を開催いたし、利用者のみなさんの思いが表現された作品を多くの方に見て頂くことができました。



### 放課後等デイサービス麦わらぼうし 児童指導員 星 崎 悠 成

厳しい寒さが続く毎日ですが、少しずつ日の入りが遅くなり、夕方森永公園で遊ぶ時間も増えてきました。

1月17日に麦わらぼうしの子ども達と職員、りんぐ利用者のみなさんと合同で餅つき大会を行いました。麦わらぼうしが開所して初めての試みでしたが、りんぐ利用者のみなさんと一緒に餅をついたり丸めたりしながら盛り上がりました。

ほとんどの子ども達が餅つきの経験が無く、「楽しかった!」「またやってみたい!」という言葉が聞かれました。様々な経験は子ども達の良い刺激になると改めて感じた一日でした。今年も色々な活動を取り入れ、子ども達の成長をサポートしていきます。



## つむぎ 職業指導員 外赤純子

つむぎでは新年レクリエーションとして、1月17日土曜日に利用者と職員合わせて30名ほどで、初詣に出かけました。行ったことのない所へ行ってみよう！とのことで、高原町の狭野神社へ。今年も健康で安全に仕事ができますようにと祈願しました。そのあとはお楽しみのお弁当タイム!!自身で好きなものを選んで買物をしたあとは、霧島連山が見える御池湖畔の公園でいただきました。当日は暖かく穏やかな気候で、外でも過ごしやすく利用者みなさんも散策されたり、雄大な景色を眺めたりと思いおもいに過ごされていました。一日を通し新しい経験やリフレッシュもできた一日となりました。



## 相談サポートセンターこのみち 相談支援専門員 荒川英之

当センターは、今年度も「宮崎東諸県地域精神障がい者地域移行支援協議会」に参画し、東諸県地域精神障がい者地域移行支援部会での活動を行ってきました。今年の部会では、主に国富町、綾町に元々住所があり、精神科病院に長期入院している方の実態調査に取り組みました。医療機関が作成したリストを基に、医療機関のソーシャルワーカー、保健所・町の保健師、相談支援専門員で情報共有、整理を行い、保健所・町の保健師さんで面接調査を行いました。今回の2つの医療機関の調査では、5名の方への今後の支援の可能性が浮かび上がってきましたが、共通して、家族関係の課題や、退院後の生活を想像することの難しさも見られました。今回の実態調査に関わらせて頂く中では、改めて、地域における保健師さんの地域保健活動の重要性を強く感じる機会にもなり、医療と福祉と保健とが、自然と良い形で協力していける地域にしていけると良いと感じました。

## 第3福祉課

### 結 生活指導員 河野奈津子

厳しい寒さが続いておりますが結職員・利用者共に元気に過ごしております。

皆さま、本年も結・マグカレー共々どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年12月20日は結望年会で西都の「ここっとキッチン」でのバイキングを楽しみました。

皆さんお腹一杯になったと笑顔で言われ大満足されていたようです。その後、西都原のこのはな館、考古博物館へ見学に行き楽しい一日を過ごしました。また、1月10日には市場のカンカン市での昼食買い物、結サテライト近くの江田神社へ初詣に参拝しました。

平日は作業を頑張っていますので土曜日の外出が良い気分転換になったことでしょう。



## るるテラス 相談支援専門員 本部 広子

まだまだ寒い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

2月といえば、節分やバレンタインなど、心がほっとする行事がある一方で、年度末に向けて忙しさや不安を感じやすい時期でもあります。

私たち、るるテラスでは、そんな時期だからこそ、皆さまの「ちょっと聞いてほしい」「どうしたらいいか迷っている」といった声に、丁寧に耳を傾けていきたいと思っています。

たとえば、こんなお悩みはありませんか？

○進学や就職に向けて、どんな準備が必要か不安…

○サービス利用計画の見直しをしたいけど、どう進めたらいいかわからない…

○家族や支援者との関係について、誰かに相談したい…

○春からの生活に向けて、支援を受けたいけど手続きが難しそう…

どんな小さなことでも大丈夫です。るるテラスでは、皆さまの気持ちに寄り添いながら、一緒に考え、必要な支援につなげていくお手伝いをさせていただきます。

## 軽費老人ホーム コーポ住吉荘 マネージャー 櫻木 香

11月 施設内で文化祭を開催し、入居者のみなさんが日頃の創作活動の成果を披露。作品を眺めながら会話が弾む、穏やかなひとときとなりました。

①屋外で落ち葉をかき集め、ぱちぱちと焚火を囲みながら焼き芋会。「外で食べると格別ね」と笑顔が広がる秋らしいひとときとなりました。

12月 甘酒ふるまい会では、やさしい甘さにほっと息をつく方が多く、「体がぽかぽかするね」と声が上がリ、心がゆるむ時間となりました。

②クリスマス望年会では、教会から牧師先生が来られクリスマスの本当の意味を知る機会になりました。「一年あったね」と語る温かい交流の場となりました。

③昔ながらの杵と臼を使った餅つきでは、掛け声と笑い声が響きました。つきたてのお餅に「やっぱりこれが一番おいしいね」と嬉しそうな表情が見られました。

1月 新年祝賀会では、新しい一年の始まりを入居者のみなさんと喜び合い、「今年も元気に過ごしたいね」などそれぞれの一年の抱負を語り合いました。

④初詣では、一年の健康と幸せを願いながら、静かで心あたたまるひとときに「お願いごとが叶うといいね」と語り合う姿が見られ、穏やかな年明けとなりました。



## 花唄 管理者 山里 勇二

令和8年1月よりMAGに仲間入りしました、新富町にあります「小規模多機能ホーム花唄」です。「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを一か所の事業所で受けることができる介護施設です。利用者、職員との距離も近く、顔なじみの関係ができ、安心してサービスを受けることができます。元気な職員も多く、花唄を盛り上げていこうと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 令和7年度 宮崎県障がい者スポーツ賞(栄誉賞)を受賞しました!!



まぐまぐ2ndで紹介しました、バスケットボールを通してスポーツの楽しさを伝え、日本国内のみならず海外チームとの強化試合を行なうなど幅広い活動をしており、障がい者支援施設エデンの園職員 平塚天晴さんが、宮崎県の障がい者スポーツの振興に寄与されたとのことで栄誉賞を受賞致しました。これからも平塚さんが活躍できることを祈念し皆さまにご紹介いたします。



## 職員向けハラスメント研修を実施しました!

当法人では、職員が安心して働ける職場環境づくりを目的に、全職員を対象としたハラスメント研修を実施しました。ハラスメントに対する社会的関心が高まる中、福祉の現場においても正しい理解と予防が重要となっています。

ハラスメントとは、相手の人格や尊厳を傷つけ、不快感や不利益を与える行為を指し、40種類以上のハラスメントがあり、代表的なものには“パワーハラスメント” “セクシャルハラスメント” “マタニティハラスメント” があります。また、無視や人格否定などの“モラルハラスメント” や、利用者・家族からの過度な要求や暴言といった“カスタマーハラスメント” も社会的な課題となっています。

今回の研修では、具体的な事例を通して、加害者に悪意がなくても相手が苦痛を感じればハラスメントになり得る事、誰もが当事者になる可能性がある事を学びました。本研修を通じて、職員一人ひとりの意識向上と円滑なコミュニケーションの促進、早期相談に繋がる職場風土の醸成が期待されます。今後も継続した取り組みにより、安心して働きながらより良いサービスが提供できるように進めてまいります。



### 土曜学校 メッセージ

金 桓基 牧師 (宮崎めぐみ聖書教会)、張 宇成 牧師 (宮崎教会)  
荒平 大輔 牧師 (宮崎北聖書キリスト教会)、山口 英希 牧師 (宮崎清水町教会)  
浅野 謙 牧師 (霧島キリスト教会)

### 寄贈・寄附金 ありがとうございます (12月~2月)

菅原誠士朗様、渡辺孝久様、東タツ子様ご家族、宮崎千果株式会社様、住吉地区社会福協議会様、宮王丸郵便局様、エデンの園家族会様、宮崎マル中プロパン様、アクティブ情報システム様、森工務店様、綾グリーンガーデン様、上野聖子様、しっぽレスキュー様、グローバルコネクト様、原口安子様、苳生恵子様、きずな歯科様、押川絵麻様、電気管理協会様、コスモ設計様、イワタニ南九州株式会社様、市来製畳店様、株式会社家族葬のファミリーユ様、安田恵子様、山口英希様、グループホームあ・んく様、兒玉美智子様、坂本匡久様、川野美幸様、山城六男様、田垣薫様、谷口舞子様、日野商店様、田山地種苗店様、米吉澄江様、郡美代様、内野浄子様、野元あゆみ様、富士産業様、フチガミ医療福祉専門学校様、武本由美子様、廣瀬政美様、坂口和幸様、黒田登様、松田誠様、宮崎市郡歯科医師会様、佐藤裕絵様、岩田久美子様、中島めい子様、日高信二郎様

### 編集後記

寒暖差が大きい昨今、いかがお過ごしでしょうか。さて、法人が合併し社会福祉法人MAGとなってからちょうど1年が経ち、季刊誌まぐまぐも今回で一回りしました。そして、この度、新富町にある『小規模多機能ホーム花唄』が私たちの仲間になりました。これから共に発展し、利用者や地域に貢献できればと考えます。まぐまぐでは今後もMAGの情報を発信していきますので、よろしくをお願いします。

結 渡部 強士

■発行日 2026年2月28日 ■発行 社会福祉法人MAG ■発行者 ゼネラルマネージャー 那須 健太郎  
〒880-1114 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5 TEL.0985-75-4936 FAX.0985-75-0616  
<https://mag-sw.com/> E-mail [jimukyoku@mag-sw.com](mailto:jimukyoku@mag-sw.com)